

安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称：

炭酸カルシウム

会社名：

村樫石灰工業株式会社

住所：

栃木県佐野市宮下町1番10号

電話番号：

0283-86-3511

緊急時の電話番号：

0283-86-2705

FAX番号：

0283-86-3517

推奨用途及び使用上の制限：

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

人健康有害性

環境有害性

注意書き：

該当しない。

通常の取り扱いでは危険性は低い。

吸引すると咳き込む。

目に入ると痛む。

情報なし。

【安全対策】

適切な保護手袋を着用すること。

適切な保護眼鏡、保護面を着用すること。

【救急処置】

皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこと。

皮膚に付着した場合、汚染された衣類を脱ぐこと。

汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズ

を着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること

眼に入った場合、直ちに医師に連絡すること。

気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。

【廃棄】

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務
依頼する

3. 組成、成分情報

化学物質

化学名又は一般名：

炭酸カルシウム(Calcium carbonate)

化学式：

CaCO₃

CAS番号：

471-34-1

官報公示整理番号

1-122

(化審法・安衛法)：

分類に寄与する不純物及び

情報なし

安定化添加物：

4. 応急措置

吸入した場合：

咳き込む場合があり、止まらない場合には医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合：

汚染された衣類を脱ぐこと。

皮膚を速やかに洗浄すること。

多量の水と石鹸で洗うこと。

汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。

目に入った場合：

まぶたを開いて数分間、多量の水で洗浄し、医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合：

口をすすぐこと。

気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。

5. 火災時の措置

消火剤：	不燃性のため必要なし。
特有の危険有害性：	情報なし。
特有の消火方法：	不燃性のため必要なし。
消火を行う者の保護：	消火作業の際は、適切な空気呼吸器を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：	作業者は適切な保護具（「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照）を着用することが望ましい。 密閉された場所は換気する。
環境に対する注意事項：	河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。 環境中に放出してはならない。
回収、中和：	漏液物を掃き集めて空容器に回収し、後で廃棄処理する。
封じ込め及び浄化の方法・機材：	危険でなければ漏れを止める。
二次災害の防止策：	情報なし。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策：	「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
局所排気・全体換気：	「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行う。
安全取扱い注意事項：	接触、吸入又は飲み込まないこと。 空気中の濃度をばく露限度以下に保つために排気用の換気を行うこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。
接触回避：	「10. 安定性及び反応性」を参照。
保管	
技術的対策：	乾燥した換気の良い屋内に保管する。
混触危険物質：	酸との接触を避ける。
保管条件：	施錠して保管すること。
容器包装材料：	吸湿性の少ない包装材料を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度：	設定されていない。
許容濃度（ばく露限界値、生物学的ばく露指標）：	
日本産衛学会（2006年版）	第2種粉塵 総粉塵 4mg/m ³ 吸入性粉塵 1mg/m ³
ACGIH（2006年版）	総粉塵 10mg/m ³ 吸入性粉塵 4mg/m ³
設備対策：	この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。
保護具	
呼吸器の保護具：	適切な呼吸器保護具を着用すること。
手の保護具：	適切な保護手袋を着用すること。
眼の保護具：	適切な眼の保護具を着用すること。 安全眼鏡を着用すること。撥ね飛び又は噴霧によって眼及び顔面接触が起こりうる時は、包括的な化学スプラッシュゴーグル、及び顔面シールドを着用すること。
皮膚及び身体の保護具：	適切な顔面用の保護具を着用すること。
衛生対策：	取扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状、色など：	無色の結晶又は白色の粉末
臭い：	無臭
pH：	8.8～9.2
融点・凝固点：	データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲：	分解
引火点：	不燃性
溶解度：	水に微溶
オクタノール/水分配係数：	データなし
自然発火温度：	データなし
分解温度：	880℃で、酸化カルシウムに分解、

10. 安定性及び反応性

安定性：	通常の使用では安定。 加熱すると分解し、酸化カルシウムを生じる。
危険有害反応可能性：	酸類と反応する。 強酸化剤と反応する。
避けるべき条件：	酸との接触。
混触危険物質：	強酸化剤、酸類。
危険有害な分解生成物：	酸化カルシウム

11. 有害性情報

急性毒性：	情報なし。
皮膚腐食性・刺激性：	皮膚刺激
眼に対する重篤な損傷・刺激性：	痛みがある。
呼吸器感作性又は皮膚感作性：	呼吸器感作性：データなし 皮膚感作性：データなし
生殖細胞変異原性：	データなし
発がん性：	データなし
生殖毒性：	データなし
特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）：	情報なし。
特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）：	情報なし。
吸引性呼吸器有害性：	データなし

12. 環境影響情報

水生環境急性有害性：	データ不足のため分類できない。
水生環境慢性有害性：	データ不足のため分類できない。

13. 廃棄上の注意：

残余廃棄物：	廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
汚染容器及び包装：	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制	
海上規制情報	IATAの規則に従う。
航空規制情報	IMDGの規則に従う。
国内規制	
陸上規制情報	非該当
海上規制情報	非該当
海洋汚染物質：	非該当

航空規制情報
特別の安全対策

非該当
積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
食品や飼料と一緒に輸送してはならない。
他の危険物や燃えやすい危険物に上積みしない。
他の危険物のそばに積載しない。

1 5. 適用法令
労働安全衛生法：

粉塵則

1 6. その他の情報

なし。

本データシートは、日本工業規格 Z7250:2000「化学物質等安全データシート(MSDS)-第一部:内容及び項目の順序」に準じて作成しており、製品の安全な取り扱いを確保するための「参考資料」として、現時点で弊社で入手できた資料を取りまとめたものです。

本データシートは、必ずしも製品の安全性を保証するものではなく、弊社が知見を有さない危険性、有害性の可能性もあります。また、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものですので、特別の取り扱いをする場合には、実態の用途・用法に適した安全対策を実施の上お取り扱い願います。